



33歳 埼玉県議会議員

吉田よしのり

通信 第122号 2008年 1月号

新座市野寺2-8-48 (八石小学校となり)

電話 048-483-2777

FAX 048-483-2780

ホームページ <http://www.yoshiday.com>

メール saitama@yoshiday.com

【発行：民主党・無所属の会・県政へのご要望をお寄せ下さい！】

- 1974(昭和49)年7月27日、北海道生まれ(33才)。大阪府寝屋川市三井中央幼稚園、大阪市立新森小路小学校、西東京(旧保谷)市立青嵐中学校、板橋区立赤塚第三中学校、法政第一高校を経て法政大学法学部卒業。卒業後、野村證券㈱に入社。横浜、青森支店等にて資産管理、営業課にて勤務。
- 2000年2月、新座市議会議員に市政始まって以来の3,855票でトップ当選。
- 2003年4月、埼玉県議会議員選挙に16,598票で2位当選。
- 2007年4月、同選挙に23,062票、トップにて再選。無所属、民主党を中心とした会派「民主党・無所属の会」を結成。徹底した行財政の効率化、情報公開推進などを訴える。
- 趣味は、旅行、水泳、サイクリング、ドライブ、野球観戦、登山、写真、お茶等。
好きな言葉は「お前がやらずに誰がやる、今、やらずして、いつ出来る。」「初心不可忘」



2008年がスタート！期待を裏切らず、全力投球します！

いよいよ2008年がスタートしました。昨年は私の県議選を始め、参院選、知事選と、本当に多くのご支援を頂きました。皆様からの期待を決して裏切らず、原点を忘れずに本年も全力投球してまいります。



【写真上・知事選の応援に駆け付ける小沢代表。右後ろが司会の私】

また、県議会では県政史上初となる23名からなる第二会派「民主党・無所属の会」を結成。政策調査会長を拝命、様々な場面で政策を発信させていただくこととなりました。

【写真下・原油高を受け緊急に知事要望を会派の代表と行う(一番右)】



県議会内では自民党、公明党との政策協議やマスコミの方への対応など一期目に比べ多くの仕事を与えられ、地元での活動に割く時間が大きく減ってしまっています。皆様から生の声を聞くことの大切さを忘れず、今年は積極的にご意見を伺って参ります。

さて、今年は2月17日には新座

市議会議員選挙、7月には新座市長選挙が行われるなど、新座市にとっては重要な年となります。

北海道夕張市が破綻しましたが、夕張市の職員給与が高かったこと、ゴミ分別もなく全て無料であったこと、市営住宅や医療費の滞納、未納が巨額であり、公共サービスが新座市などに比べ高かった事などは報道されていません。



【写真上・養護学校での現地視察】

新座市がタ張市のように破綻することは現実的ではありませんが、サービス格差は今後、地方政府間によって大きくなってゆきます。例えば新座市職員の給与水準は県内では戸田市に次いで二位という高水準ですが、果たしてそれにあった公共サービスが受けれているかどうか。是非、そういった視点も交えて、新座市政、埼玉県政にも関心をお持ちいただき、議員や市長をお選び下さい！

吉田よしのの県議会日記！

- 12/2 新座市農業委員会式典等
- 3 大泉学園駅頭、事務処理等
- 4-6 県議会本会議、議案調査等
- 7 県議会本会議、一般質問等
- 8 市内地域訪問、市議選会議等
- 9 町内会行事、市議選対応会議
- 10 県議会本会議、決算委員会
- 11 ひばりヶ丘駅頭、県議会本会議
- 12 志木駅頭、県議会本会議ほか
- 13 新座駅頭、県議会本会議、議運
- 14 朝霞台駅頭、県議会議案調査等
- 15 衆議院議員会議、県議会事務等
- 16 事務処理、市議選対応会議等
- 17 県議会総務常任委員会等
- 18 県議会議案調査、市議選会議等
- 19 新座団地キヤ、教育特別委員会
- 20 東久留米駅頭、県議会議案調査
- 21 清瀬駅頭、県議会本会議、議運
- 22 市内地域訪問、陳情受付等
- 23 「改革日本」地方財政研究会
- 26 県議会事務、市議選対応会議等
- 27-28 市内地域訪問、事務処理等
- 29 県庁事務、市内団体懇親会
- 31 武野神社キャンペーン等

議会スタッフ、秘書、政治家志望の方を募集します！

議会活動の補佐、秘書、将来政治家志望の方などを募集しています。やる気があれば資格は問いません。お気軽にお問い合わせ下さい！

【民主党・無所属の会・新座事務所 吉田よしのり事務所】まで

平成20年度予算の概要について

埼玉県の平成20年度、新年度予算審議が来月中旬から始まります。埼玉県内のNPO団体が埼玉県の行っている事業中7割程度を調査したところ、そのうち65%が廃止すべき、若しくは(民間等が行うべきで)埼玉県としてやる必要のない事業であるということが発表されました。

【写真下・埼玉県議会の予算委員会にて資料用いて審議中】



私もその団体の関係者から現在、ヒアリングなどを行っており新年度予算審議の定例会までにはさらに調査する予定です。

一方で、皆さまから頂いている多くの要望等について、真に必要なものについては新年度予算に反映させるべく働きかけを行っております。財政再建と真に必要な事業とのバランスが非常に難しいところですが、予算審議等を通じ、しっかり取り組んでまいります。

2007年中の議会活動について！

昨年4月8日に当選させて頂き、5月に新会派を結成、6月には会派を代表しての本会議質疑を行うなど活動して参りました。また、7月の参院選や8月の知事選などの取り組みにおいて、多くの取材を受けるなど、新聞報道等もなされましたので、一部をご紹介します。

【下・読売、朝日、毎日、産経、埼玉新聞等に掲載されました】

「教育の原則」

上田清司知事は22日、県議会本会議で「インクルーシブ教育(障害のある子供を受け入れる共生の教育)」について「これからの教育の原則。教育委員会からその実現に向けて施設整備の改修や予算な

向ではあるが、原則として打ち出すことには躊躇(ちゅうちゆ)する」と述べ、知事との温度差を感じさせた。

吉田芳朝氏(民主)の質問に答えた。県内では東松山市が5月末、障害のある児童生徒の就学先を判定する

長吉田芳朝(2期)7

厚い補助を

吉田 芳朝氏(32) 民主党・②・南18区 無所属の会

「日曜日に投票に行つて自分の名前を書いてくださる。本当にありがたく、身が引き締まる思い」と再選の喜びを語る。

①行政効率化の徹底の私立学校に負けない強い公教育②子育て支援を二期目に掲げる。特に「わたくしが唯一、手厚い補助をばらまいてもいい」と考えるのが子育て支援。経済的理由で子どもを育てない親を減らす。経済的理由で子どもを育てない親を減らす。

20日午後3時ごろ、北朝霧駅に向かう県道。必死に自転車こぎ山根隆治の前方で、選挙カーから、実況中継しているのは県議の吉田芳朝だ。

ユーモアあふれる笑況に、笑わずにはいられない通行人たち。中高校生から「頑張ってる」の聲がかかる。吉田は「両親によろしく伝えてね」と吉田。

今後とも皆さまからの生の声を大切に、県議会でも意見発信をしてゆくとともに、重要な事実や施策については、マスコミの協力を得て、より多くの方に情報発信してまいります！